

(公印省略)

3 福薬発第 5 4 1 号  
令和 4 年 2 月 2 5 日

各地区薬剤師会会長 殿  
本会役員 各位

公益社団法人福岡県薬剤師会  
会 長 原 口 亨  
(新型コロナウイルス感染症対策本部長)

まん延防止等重点措置の延長について (依頼)

標記について、別添のとおり福岡県企画・地域振興部国際局国際政策課より、英語、中国語など多言語の翻訳文が提供されるとともに、在留外国人への周知依頼がありましたので、薬局窓口等での周知にご協力いただきますようお願いいたします。

各関係団体 ご担当者様

福岡県企画・地域振興部国際局国際政策課長

まん延防止等重点措置の延長について（依頼）

貴職におかれましては、日頃から、国際交流推進に向けた本県の取組みにご協力いただき、心から感謝申し上げます。

このたび、本県新型コロナウイルス感染症対策本部において、『まん延防止等重点措置の延長について』を発出しましたので、お知らせいたします。

つきましては、その内容について多言語に翻訳したものをお送りしますので、貴団体ホームページへの掲載やSNS等での情報発信、関係機関への送付など、域内の在留外国人への周知をお願いいたします。

※ 翻訳文については、福岡県 HP にて PDF データを掲載しております。

【福岡県 HP・外国語ページの URL】

○英語

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/site/english/en-living-infection-c4-1.html>

○やさしい日本語

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/site/japanese/ja-living-infection-c4-1.html>

【QR コード】

○英語



○やさしい日本語



【掲載言語】：英語、やさしい日本語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語  
インドネシア語、タイ語を上記 HP 内でご確認いただけます。

担当：福岡県企画・地域振興部国際局  
国際政策課交流推進係

TEL：092-643-3201 FAX：092-643-3224

メール：intpol@pref.fukuoka.lg.jp

## まん延防止等重点措置の延長について

2022年2月18日(金曜日) 発表

**まん延防止等  
重点措置**

**延長**

**3月6日(日)まで**

国は、福岡県を含む17道府県について、まん延防止等重点措置の期間を、3月6日(日)まで延長しました。これを受け、県では、これまでと同様の措置を徹底し、感染の収束に向けて全力を挙げていきます。なお、措置区域については、全県的に感染が拡大している状況が続いているため、これまで同様に県内全域とします。

【PCR等無料検査】

感染に不安を感じる県民の方

**PCR等無料検査**

**3月6日(日)まで延長**

【ワクチン接種】

ワクチンについては、市町村や県の接種会場、医療機関で接種できます。3回目の接種による予防効果を考えていただき、ワクチンの種類にかかわらず、積極的に接種をご検討ください。

なお、県の広域接種センターについて、現在の3カ所（みやま会場、直方会場、行橋会場）に加え、新たに博多駅周辺での設置を検討中です。早期に開設できるよう準備を進めているので、決まったら改めてお知らせします。

### 【病床確保等】

新たにコロナ病床を6床確保し、1558床から1564床に増床しました。

県では、コロナ患者受入医療機関に、「退院基準を満たした方の退院」や「後方支援病院への転院」、「退院基準を満たす前でも、入院4日目以降に医師が入院治療の必要がない軽症と判断した方の早期退院」を積極的に促すとともに、後方支援病院への転院を円滑に進めるための新たな仕組み（後方支援病院の受入可能情報の共有）を16日から稼働させるなど、コロナ病床の効率的な運用に努めているところです。

なお、早期退院した患者は、医師や看護師が常駐する宿泊療養施設での受け入れを原則としています。

さらに、高齢者施設の入所者が新型コロナウイルス感染症に感染し、施設内で療養を行う場合の療養体制の確保に対する支援として国の補助が拡充されるため、高齢者施設の管理者にこのことを周知し、これを活用していただくことで、病床のひっ迫を防いでいきます。

### 【おわりに】

県民の皆さま、事業者の皆さまには、再びご負担をかけることとなり、大変心苦しいですが、再拡大を防いで、早期に収束させるためにも、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

私たち自身がお互いを守るという意識で慎重に行動し、大切な人、かけがえのない命を守りましょう。

えんぼうしとうじゅうてんそち えんちょう  
まん延防止等重点措置の 延長について

ねん がつ にち きんようび はっぴょう  
2022年2月18日(金曜日) 発表

えんぼうしとうじゅうてんそち きんきゅうじたいせんげん で  
※まん延防止等重点措置…緊急事態宣言が 出ないように するため

し まち ねが  
に、市や 町ごとに お願いすること。

まん延防止等  
重点措置

延長

3月6日(日)まで

くに ふくおかけん ふく どうふけん まんえんぼうしとうじゅうてんそち きかん  
国は、福岡県を 含む 17道府県について、まん延防止等重点措置の 期間

がつ にち にちようび の  
を、3月6日(日曜日)まで 延ばしました。

けんみん いま ねが がつ にち にちようび つづ  
県民の みなさんは 今まで お願いしてきたことを 3月6日(日曜日)まで 続けて  
ください。

やさしい日本語(JP)

えんぼうしとうじゅうてん そ ち おこな ちいき いま おな ふくおか  
まん延防止等重点措置を 行う 地域については、今までと 同じように 福岡

けんない すべ ちいき ふくおかけん ちいき ころなういるす  
県内の 全ての 地域とします。 福岡県の ほとんどの 地域で コロナウイルスの

びょうき ひろ じょうきょう つづ  
病気が 広がっている 状況が 続いているからです。

けんさ むりょう う  
【PCR検査などを 無料で 受けることができること】

感染に不安を感じる県民の方

PCR等無料検査

3月6日(日)まで延長

わくちんせつしゅ ころなういるす びょうき  
ワクチン接種を したかどうかにかかわらず、コロナウイルスの 病気に なったか

ふあん かん むしょうじょう ひと がつ にち にちようび けんさ  
どうか 不安を 感じる 無症状の 人は 3月6日(日曜日)まで、PCR検査などを

むりょう う  
無料で 受けることができます。

わ く ち ん せ っ し ゅ

## 【ワクチン接種をすること】

わ く ち ん し ち ょ う そ ん け ん せ っ し ゅ か い じ ょ う い り ょ う き か ん せ っ し ゅ か い め  
 ワクチンは、市町村や 県の 接種会場、医療機関で 接種できます。3回目の

わ く ち ん せ っ し ゅ こ ろ な う い る す び ょ う き よ ぼ う こ う か  
 ワクチン接種をすることで、コロナウイルスの 病気を 予防するという 効果を よく

か ん が い ま せ っ し ゅ わ く ち ん し ゅ る い か い め  
 考えてください。今まで 接種した ワクチンの 種類に かわらず、3回目の

せ っ し ゅ じ ぶ ん か ん が  
 接種を 自分から すすんで 考えてください。

け ん こ う き せ っ し ゅ せ ん た ー い ま か し ょ か い じ ょ う の お が た か い じ ょ う  
 県の 広域接種センターについて、今ある 3カ所(みやま会場、直方会場、

ゆ く は し か い じ ょ う く わ あ た ら は か た え き ち か せ っ ち か ん が  
 行橋会場)に 加えて、新しく 博多駅の 近くに 設置することを 考えています。

き し  
 決まったら またお知らせします。

び ょ う い ん べ っ ど か く ほ )  
 【病院の ベッドを 確保することなど】

こ ろ な う い る す び ょ う き ひ と び ょ う い ん べ っ ど あ た ら こ  
 コロナウイルスの 病気に なった人のための 病院の ベッドを 新しく 6個

ふ ご う け い 1 5 5 8 こ 1 5 6 4 こ  
 増やして、合計1,558個から 1,564個に なりました。

こ ろ な う い る す び ょ う き ひ と う い い り ょ う き か ん た い い ん  
 コロナウイルスの 病気に なった人を 受け入れる 医療機関に、「退院するため

の 基 準 を 満 た し た 人 を 退 院 さ せ る こ と 」 や 「 後 方 支 援 病 院 ( コ ロ ナ ウ イ ル ス の  
 き じ ゅ ん み ひ と た い い ん こ う ほう し え ん び ょ う い ん こ ろ な う い る す  
 の 基 準 を 満 た し た 人 を 退 院 さ せ る こ と 」 や 「 後 方 支 援 病 院 ( コ ロ ナ ウ イ ル ス の

び ょ う き て い ど か い ふ く ひ と う い び ょ う い ん て ん い ん  
 病気が ある程度 回復した人を 受け入れる 病院)へ 転院させること」、

た い い ん き じ ゅ ん み ま え に ゅ う い ん に ち め い こ う い し に ゅ う い ん  
 「退院するための 基準を満たす前でも、入院して 4日目以降に 医師が 入院

ち り ょ う ひ つ ょ う け い し ょ う は ん だ ん ひ と は や た い い ん  
 し な が ら 治 療 を す る 必 要 が な い 軽 症 だ と 判 断 し た 人 を 早 め に 退 院 さ せ る

こと」を 自分から すすんで 行ってもらうとともに、 後方支援病院への 転院を

すすめるための 新しい 仕組み(後方支援病院で 受け入れることが できるという

情報を 共有すること)を 2月16日(水曜日)から 行っているところです。

早めに 退院した人は、 医師や 看護師が 常にいる 宿泊療養施設へ 入ること

が 原則です。

高齢者施設に 入っている人が コロナウイルスの 病気になって、 施設の 中で

治療などをする場合の 支援として 国の 補助が 増えます。 高齢者施設の

管理者に このことを お知らせして、 これを 活用することで、 病院の ベッドが

足りなくなってしまう 状況を 防いでいきます。

## 【おわりに】

県民の みなさん、 事業者の みなさんには、 また負担を かけることになってし

まいりました。 お互いを 守るということを 考えながら 行動して、 力を 合わせ

て、 これ以上 コロナウイルスの 病気を 広めないように しましょう。



## Regarding to the extension of the Priority measures

As of Friday, February 18, 2022

**Priority Measures**  
**Extended**  
**until March 6 (Sun.)**

The national government has extended the period of priority measures to prevent the spread of the disease in 17 prefectures, including Fukuoka Prefecture, until March 6 (Sunday). In response to this, the prefectural government will thoroughly implement the same measures as before and do its utmost to bring the infection under control. As the infection is still spreading throughout the prefecture, the area to be covered by the measures will be the entire prefecture as before.

**【Request to Prefectural Residents】**

## Prefecture residents concerned about infection

# Free PCR and other tests

**Extended until March 6  
(Sun.)**

### **【Vaccination】**

Vaccines are available at municipalities, prefectural government vaccination centers, and medical institutions; please consider getting the third vaccination and actively consider getting vaccinated regardless of the type of vaccine. In addition to the current three prefectural government vaccination centers (Miyama, Nogata, and Yukuhashi), we are now considering the establishment of a new center near Hakata Station. We are preparing to open a new center as soon as possible and will let you know when it is decided.

### **【Securing hospital beds, etc.】**

Six new hospital beds have been secured, increasing the number of beds from 1558 to 1564.

The prefectural government is actively encouraging medical institutions receiving COVID-19 patients to "discharge patients who meet the discharge criteria", "transfer patients to logistic support hospitals", and "discharge patients early, who are diagnosed by doctors to have minor illnesses that do not require inpatient treatment after 4 days of hospitalization even before meeting the discharge criteria". At the same time, we are striving for the efficient utilization of

COVID hospital beds by promoting patients to transfer to logistical support hospitals, and by putting into operation a new system (information on the availability of logistical support hospitals) on the 16th to facilitate the transfer of patients to logistical support hospitals.

Patients who are discharged early from the hospital are accepted at temporary accommodation facilities where doctors and nurses are stationed.

Additionally, government subsidies will be expanded to support the ensuring a medical treatment system for residents of elderly facilities who are infected with COVID-19 and receive medical treatment in the facilities. We will prevent a shortage of hospital beds by informing the managers of elderly facilities about this and encouraging them to take advantage of this support system.

### **【In Conclusion】**

We are very sorry to have to burden the prefectural residents and businesses once again, but we would like to ask for your understanding and cooperation in order to prevent the re-spreading of the disease and to bring it under control as soon as possible.

Let us act cautiously with the awareness that we ourselves are protecting each other and protect our loved ones and irreplaceable lives.